



## 株式会社 管理本部 x HALZ 株式会社 管理本部事業本部長 吉田 明世さんへの インタビュー

### 株式会社 管理本部



株式会社 管理本部

#### 役員

代表取締役 中村 晃子  
取締役 藤田 敏克  
事業本部長 吉田 明世

#### 事業内容

創業支援・資金調達支援サービス／補助金・  
助成金支援サービス  
／管理業務 運営支援サービス／  
許認可支援サービス／その他

### HALZと株式会社管理本部の関係？

管理本部とHALZは同一グループ内で役割を分担し、HALZが人事・労務や組織面から企業価値向上を支援する一方、管理本部は創業支援や資金調達、バックオフィス運営など経営基盤を担っています。

両者が連携することで、人的資源と経営基盤の両面から企業を継続的に支える総合的な支援体制が実現されています。

#### 【HALZグループ構成】

- ・ 社会保険労務士法人HALZ
- ・ 人事コンサルファーム（株）HALZ
- ・ （株）みらいアウトソーシングHALZ
- ・ （株）管理本部



## 株式会社 管理本部 — 事業内容紹介

株式会社 管理本部は、創業支援から管理部門の運営支援まで、企業のバックオフィス機能を丸ごとサポートするアウトソーシング事業を展開しています。創業期の法人設立支援から、補助金・助成金の申請代行、日常の管理業務まで、幅広いニーズに応えています。

### ◆ 主なサービス内容

#### ✓創業支援

- ・ 法人設立手続き、定款作成、許認可・届出支援

#### ✓補助金・助成金申請代行

- ・ 各種補助金・助成金の申請書類作成・提出をサポート

#### ✓管理業務運営支援

- ・ 会計アウトソーシング、労務・給与計算、各種手続き対応

#### ✓バックオフィス支援

- ・ 管理部門業務の効率化・運営体制構築支援



### 特徴ポイント

- ・ 「創業から管理部門運営までワンストップ」で支援可能
- ・ 各種専門分野（税務・登記・労務・許認可等）をワンチームで対応
- ・ お客様が本来の業務に専念できるよう、バックオフィスを全面サポートします





次は吉田さんへのインタビュー！！



**Q. 現在のポジションと役割を教えてください。**

A. 肩書きは「事業本部長」です。私自身もコンサルタントとして現場に入りながら、事業全体を見渡して、指揮を執っています。



**Q. どのような組織体制で運営していますか？**

A. 社内は少数精鋭のメンバーで運営しつつ、各分野の専門家と提携する形をとっています。

単に社員数を増やすのではなく、例えば営業ならその道のプロである外部パートナーの方と協力し、「株式会社管理本部」のチームとして動くことで、効率よく専門性の高い仕事ができる体制にしています。



**Q. 一日の仕事の流れはどのようなものですか？**



A. 決まった流れはありません。コンサルティングの内容はクライアントによって全く違うからです。プライバシーマークの審査を自ら受ける日もあれば、他県へ出向いてISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）のコンサルティングを行う日もあり、お客様に合わせて日々柔軟に動いています。



**Q. 吉田さんこれまでの経歴を教えてください。**

A. 元々は金融業界の出身です。三菱銀行に約9年、その後政府系金融機関に10年強と、合計で20年ほど金融の世界にいました。その後、経営コンサルタントとして独立し、これまでにベンチャー支援や上場支援など、約1,400社の支援を行ってきました。現在の業務も、この経験がベースになっています。



**Q. 藤田代表（ハルズ代表）とはどのようなご関係ですか？**

A. 出会ってからもう20年以上になり、深い信頼関係があります。組織図上は事業本部長という立場ですが、契約形態としては「業務委託」という形をとっています。組織の一員としての責任を持ちながらも、プロフェッショナルとして自立した視点で経営に関わっています。



**Q. 特に印象に残っている実績はありますか？**

A. 「株式会社あわーず」をM&Aした際、その管理部門の業務一式を当社が引き受けたことです。通常、M&Aのあとは関係が薄れることも多いですが、デューデリジェンス（資産査定）からその後の運営まで一貫して任せていただきました。これは当社の管理能力の高さを示す一つの事例だと思います。



## Q. 今後のビジョンや注力事業について教えてください。

A. 現在は「AI研修プログラム」の展開に力を入れています。

これは社員1名あたり3ヶ月間で実践的なAIスキルを身につけられるプログラムです。助成金を活用することで、企業様は実質的な負担を大幅に抑えて導入することができます。AI活用の勝負はここ2～3年だと考えていますので、企業の競争力を高めるために注力していきます。

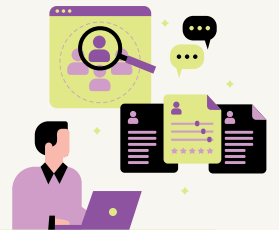


## Q. どのような人材を求めていますか？

A. スキルの有無以上に「意識」を重視しています。

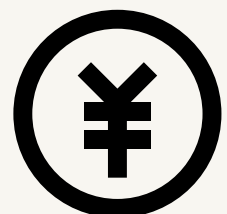
指示を待つだけでなく、自ら考えて動ける方です。たとえお掃除やお茶出し一つであっても、それを真剣に、前向きに取り組めるかどうか大切です。

当社はまだ成長段階にある会社ですので、自分の専門領域を作って「自立して稼げる人材」になりたいという意欲のある方を求めています。その分、私の指導は藤田代表よりも厳しいですよ（笑）。



## Q. パートナーとの働き方はどのようなスタイルですか？

A. 外部パートナーの方々とは、完全な成果報酬型で連携しています。固定給ではなく、**実力と成果に応じて報酬**をお支払いする形をとることで、お互いにプロとして高いモチベーションで仕事ができる環境を作っています。





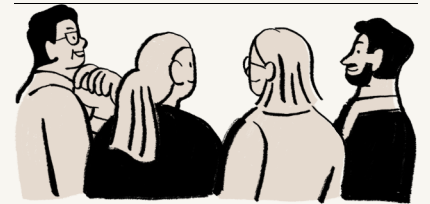
## Q. 管理本部で働く魅力は何ですか？

A. 「自ら企画し、実行できる面白さ」です。

誰かにやらされる仕事ではなく、自分のやりたいことを形にできる環境なので、仕事としてのやりがいは非常に大きいです。



## Q. 社内の雰囲気はどうですか？



A. 非常に明るく、風通しの良い職場です。

仕事中は互いに声を掛け合い、サポートし合っています。少人数ならではの良さもあり、ランチタイムには「うなぎ食べる人ー？」と声をかけてみんなで食事をとることもあります。

また、最近では社員の個性を活かした「部活」のような試みも始まり、コミュニケーションがさらに活発になっています。私自身もそういった楽しい試みには積極的に参加していきたいと思っています。



左は株式会社管理本部代表取締役 中村さん  
右は吉田さん

## 編集後記

今回の社内報では、株式会社 管理本部 事業本部長・吉田明世さんへのインタビューを通じて、同社の事業内容や組織体制、そして今後のビジョンについてご紹介しました。

編集作業を通じて、創業支援から管理業務運営支援までを一貫して担う同社の役割の大きさを、あらためて感じました。

特に、バックオフィス業務を「支える側の専門組織」として体系的に整えている点は、企業活動を円滑に進めるうえで欠かせない存在であると感じます。取材内容を読み解きながら、日々の業務の裏側には多くの専門的な支援があることを意識する機会にもなりました。

本記事が、管理本部の取り組みをより身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。

編集者：黄